

## 微生物高度安全実験室点検結果表

項目	判定基準	チェック頻度	結果
<b>1 安全キャビネット</b>			
(1) 絶縁性能試験			
ア 絶縁抵抗測定	5MΩ以上	年1回	
(2) 運転試験			
ア 異常音、異常振動の有無	異常がないこと	年1回	
イ 保護回路の確認	保護装置を動作時に、ファンモーターが停止すること	年1回	
ウ 諸スイッチの動作確認	異常がないこと	年1回	
エ 電流、電圧等測定(参考)		年1回	
(3) 塵埃リーク試験	0.3μm以下の粒子にて、99.99%以上の捕集効率を有し、ピンホール等がないこと	年1回	
(4) 清浄度測定	クラス100(0.5μm以上100個以下)	年1回	
(5) 風速試験	平均0.60～0.65(m/sec)の範囲	年1回	
(6) 密閉度試験	圧力低下が-10%以内であること	年1回	
(7) 滅菌作業	ホルマリン燻蒸、アンモニア中和	年1回	
(8) HEPAフィルター交換		4年毎(推奨)	
(9) コンストンバネ交換作業		5年毎(推奨)	
<b>2 無停電電源装置</b>			
(1) 外観点検及び清掃			
ア 変色部品の有無	目視にて確認	年1回	
イ 変形及び破損部品の有無	目視にて確認	年1回	
ウ 放電痕跡の有無	目視にて確認	年1回	
エ 異物混入の有無	目視にて確認	年1回	
オ コネクタの挿入状態確認	触手にて確認	年1回	
(2) UPS点検			
ア 無負荷運転試験			
(ア) 起動・停止操作	正常に動作すること	年1回	
(イ) インバータ給電出力電圧を測定	210V±1%以内であること	年1回	
(ウ) UPS運転中、交流入力「52M」を遮断・投入し停電後、運転継続確認	正常に運転継続すること	年1回	
(エ) UPS給電とバイパス給電の切替動作	正常に動作すること	年1回	
(オ) 模擬重故障発生時	UPS給電からバイパス給電に正常に切り替わること	年1回	
イ 保護回路動作試験			
(ア) 無負荷運転中、模擬重故障設定	LCD画面動作及び表示が正常であること	年1回	
ウ 運転状態の確認			
(ア) 停電及び故障履歴を確認		年1回	
(3) UPS運転確認			
ア 運転状態、使用状態の確認			
(ア) 室温、空調状態確認		年1回	
(イ) 表示灯	正常に点灯していること	年1回	
(ウ) 異音、異臭	異音、異臭がないこと	年1回	
(エ) 盤面表示器により、運転状態を確認	定格範囲内であること	年1回	
(オ) 停電、出力過電流等の検出回数を確認		年1回	
イ 蓄電池診断(参考データ)		年1回	

## 微生物高度安全実験室点検結果表

項目	判定基準	チェック頻度	結果
ウ 履歴リセット		年1回	
(4) バッテリー交換		5年毎(推奨)	
(5) 冷却ファン交換		10年毎(推奨)	
3 加湿ユニット			
(1) 加湿シリンダー分解洗浄		年1回	
(2) 給水フィルターエレメント交換		年1回	
(3) ヒューズ交換		年1回	
(4) 排水ポンプ交換		3年毎(推奨)	
(5) フロート部交換		5年毎(推奨)	
(6) 等圧管ホース交換作業		5年毎(推奨)	
(7) 排水ホース交換作業		5年毎(推奨)	
(8) 蒸気ホース交換作業		5年毎(推奨)	
4 BSL3実験室、エアロック室、前室等			
(1) ファンベルト確認	緩み、摩耗等がないこと	年2回	
(2) フィルター類差圧系統状態確認		年2回	
(3) 空調熱源状態確認		年2回	
(4) 各機器絶縁測定	100MΩ以上の抵抗値を示すこと	年1回	
(5) チラー冷媒漏れ点検	冷媒漏れがないこと	年1回	
(6) 送風機Vベルト交換		年1回	
(7) 機器運転データ採取		年1回	
(8) 室圧確認	BSL3実験室:-50Pa程度、エアロック室:-20Pa程度、前室:0~微陽圧	年1回	
(9) 風量測定		年1回	
(10) 塵埃測定	BSL3実験室、エアロック室:クラス10,000 前室:クラス100,000	年1回	
(11) 温湿度測定	室温:夏季25±2°C、冬季22±2°C BSL3実験室:30~60%RH	年1回	
(12) 警報動作確認		年1回	
(13) 給排気HEPA交換(11か所)		4年毎(推奨)	

保守点検業務実施者氏名 \_\_\_\_\_